

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回1月の「てがたん」は1月12日(土)で「冬鳥観察」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは1月5日(土)です。なお5日午後は来年度のとがたんのテーマを決める打ち合わせを行います。よろしくお願いいたします。

12月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→桃山公園→手賀沼遊歩増→親水広場
- 観察日時/天気 2012年12月8日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 23名(一般15人、子ども8人)
- 市民スタッフ 13名(伊東茂子、岡廣志、窪田憲史、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、村田富美子、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(塩田いつみ、村松和行)

観察記録 - 12月とがたんで観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カンムリカイツブリ、カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/カモ科：カルガモ、コガモ、オナガガモ、コブハクチョウ/タカ科：ミサゴ/ハヤブサ科：チョウゲンボウ/クイナ科：クイナ、オオバン/シギ科：イソシギ/カモメ科：セグロカモメ/ハト科：キジバト/キツツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/モズ科：モズ/ツグミ科：ツグミ、シロハラ/ウグイス科：ウグイス/シジュウカラ科：シジュウカラ、ヤマガラ/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：ホオジロ、アオジ、オオジュリン/アトリ科：コイカル/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシブトガラス/外来種や家禽：ドバト

【昆虫・クモ】

バッタの仲間：コバネイナゴ、タンボコオロギ(幼生)/チョウ・ガの仲間：モンシロチョウ/クモの仲間：ナガコガネグモ

【花】

キク科：ノゲシ、セイヨウタンポポ、ハキダメギク/カタバミ科：カタバミ/シソ科：ホトケノザ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ/スミレ科：スミレ/バラ科：ピワ(植栽)/ツバキ科：サザンカ(植栽)、ヤブツバキ(植栽)

【実】

バラ科：トキワサンザシ(ナシ状果)、ノイバラ(バラ状果)/ツバキ科：ツバキ(蒴果)、ナツツバキ(蒴果)、ヒサカキ(液果)/キンポウゲ科：センニンソウ(瘦果)/ユズリハ科：ユズリハ(核果)/マメ科：クズ(豆果)フジ(豆果)/クスノキ科：シロダモ(液果)、クスノキ(液果)/ニレ科：ムクノキ(核果)、ブナ科：シラカシ(堅果)、コナラ(堅果)/モクセイ科：シマトネリコ(翼果)/モクセイ科：トウネズミモチ(液果)、ノキノシタ科：ガクアジサイ(蒴果)、ウツギ(蒴果)/カキノキ科：カキ(液果)/ミカン科：ミカン(ミカン状果)/ミツバウツギ科：ゴンズイ(蒴果)/モチノキ科：ソヨゴ(核果)、クロガネモチ(核果)、イヌツゲ(核果)/ゴマノハグサ科：キリ(蒴果)/ニシキギ科：マユミ(蒴果)/クマツヅラ科：コムラサキシキブ(核果)/シイ科：スダジイ(堅果)/スズカケノキ科：アメリカスズカケノキ(瘦果、集合果)/カツラ科：カツラ(袋果)

12月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「色々な木の果の形と種類」でした。

身近な鳥たちが食べる木の果には、どんな種類があるのかに注目しながら木の果の分類やその特徴について観察しました。



今月の案内人：古川克彌さん、湯瀬一栄さん



鳥もよく食べるクロガネモチの果 (核果)



あまり見かけないユズリハの果 (核果)



香取神社の前に落ちていたクスノキの果 (液果)



ムクノキの果は甘く、人も食べられます (核果)

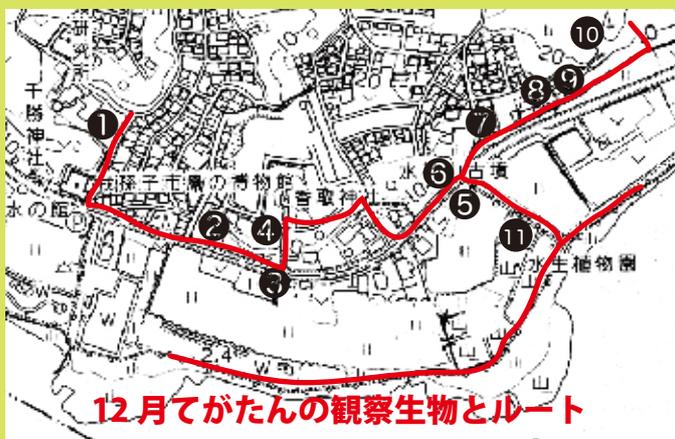


漬すとブルーベリーのような色のヒサカキの果 (液果)



シラカシの果 (堅果)

ドングリの帽子は殻斗 (かくと) と呼ばれ、その模様は種類によって様々です。今回はシラカシの横縞とコナラの網目模様を観察しました。



12月てがたんの観察生物とルート



←ヒサカキの種子

ムクノキの核→

液果と核果のちがいは

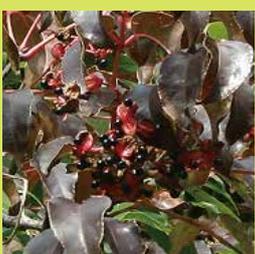
似ている液果と核果ですが、液果は果肉を取ると種子があり、核果は果肉を取ると、果皮の一部が種子を包みこんだ核と呼ばれる部分があります。



クリスマスの工作も楽しみました



ゴズイと同様、果皮が裂けるマユミの果 (蒴果)



赤い果皮と黒い種子が綺麗なゴズイ (蒴果)



ちょっと大きめサイズのトウネズミモチの果 (液果)



イヌツゲの果も鳥によく食べられる (核果)

今月の鳥 ツグミ

(スズメ目ツグミ科) 全長：約24cm

ツグミは公園や住宅地でよく見られる冬鳥です。主な越冬地であるシベリアから大きな群れで日本に渡ってきます。渡ってきてすぐの頃は群れで行動し、寒さが増してくると餌を求めて、それぞれ平地におります。

主に地面の小さな昆虫や木の果を食べるので、平地では公園の芝生や庭木がちょうどいい餌場になります。



ツグミの分布図

分布図の色 夏鳥 冬鳥

ツグミ